

みなさま、おはようございます。本日ここにたくさんの会員のみなさまにご参加いただき第80回全国保健所長会総会を開催できることを大変嬉しく思います。みなさまには日頃から本会の活動にご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

それから、ご多忙の中、ご臨席を賜りました厚生労働省健康・生活衛生局長 大坪寛子様、茨城県副知事 小野寺俊様、茨城県医師会長 鈴木邦彦様には、心から感謝申し上げます。ご来賓のみなさまにおかれましては、全国保健所長会の活動にご理解とご支援を賜り重ねてお礼申し上げますとともに、引き続き本会へのご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

また、永年にわたり保健所に勤務され、その功績により全国保健所長会会長表彰を受けられるみなさまには心からお祝い申し上げます。私ども保健所長はみなさまのような職員に支えられており、一緒に働けることを大きな喜びとしております。どうか、これからも健康に留意され、なお一層ご活躍されることをお願い申し上げます。

さて、会員各位をはじめ全国の保健所職員の皆さまにおかれましては、2020年から3年以上にわたり新型コロナウイルス感染症に対し、それぞれの地域で感染拡大防止及び感染者の療養支援等にご尽力いただきましたことに対し、心から敬意を表しますと共に感謝を申し上げます。振り返りますと、まだワクチンが普及しない第5波くらいまでの間、欧米諸国に比べ我国の感染者数や死亡者数は非常に低く抑えられました。国民の衛生意識の高さ、水際対策などとともに、国及び専門家からのご指導のもと、地域の医療関係者のご協力をいただき全国の保健所が積極的疫学調査と濃厚接触者への健康診断、行動自粛要請等の感染拡大防止対策に熱心に取り組んだ成果ではないかと思っております。本年5月に5類感染症に移行いたしました、それに先だつて皆様方が各地域で移行に向けた準備を周到に行っていたおかげで非常にスムーズに5類化することができました。ただ一方で、昨年6月の新型コロナウイルス感染症対応に関する有識者会議では、保健所業務がひっ迫した場合に保健所のコアの業務である積極的疫学調査や情報の収集・管理などに専念できるよう、業務負荷の低減、かかりつけの医療機関への検査や健康観察の委託、検体搬送の簡素化、陽性者移送についての救急搬送機関との連携、事務の外部委託や都道府県での一元化が必要といった課題が指摘されております。これを受けて感染症法が改正され、各自治体は連携協議会で予防計画を策定中ですが、新型コロナウイルス感染症対応において課題であった医療と保健の役割分担と連携について十分協議していただき、地域の実情に応じた体制整備にご尽力いただきたいと思います。

今回、4年ぶりに参集で総会を開催することができました。私にとりまして会長として初めての通常開催です。茨城県の入江ふじこ会長には、お忙しい中、昨年度から本総会の準備をしていただきました。本当にありがとうございました。

さて、今年度の取り組みですが、短期的には、新型コロナウイルス感染症対応の記憶が新鮮なうちに次の新興感染症への備えをしていく必要があります、また、中長期的にはこれまでも増しての保健所機能強化を図る必要があります。

地域保健の充実強化に関する委員会では、地域における保健医療福祉に係るさまざまな検討の他、医療構想と包括ケアの推進における保健所の役割についての研究（逢坂班）で実施している「医療計画（在宅医療）策定に関する保健所職員研修」をはじめ、措置診察及び措置入院者支援の課題整理と今後の保健所の対応に関する研究（山口班）、グローバル化時代における保健所の機能強化と国際社会への貢献に関する研究（矢野班）、中核市保健所の課題と可能性についての研究（越田班）の活動について検討をお願いしております。健康危機管理に関する委員会では、保健所の健康危機管理に関する体制強化の検討や保健所長支援 ML の運営をはじめ、新型コロナウイルス対策等推進事業（田中班）、災害時健康危機管理活動の支援・受援体制整備と実践者養成事業（西田班）、院内感染対策ネットワークと保健所の連携推進事業（豊田班）、保健所の結核検診の現状と課題（稲葉班）の活動について検討していただいております。公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会では、事業班（横山班）と連携してサマーセミナーの開催、相談会のオンライン開催など工夫を凝らした活動と、社会医学系専門医制度等について会員のみなさまに広く周知する ZENHO 通信の発行や更新単位（K 単位）の指定等を実施していただいております。

各担当理事会につきましては、理事の皆様はお忙しい中ですがメールやオンラインも活用して例年どおりの事業を行っていただいております。総務担当理事会では予算の管理、理事会・総会の運営などを、渉外担当理事会では国への要望活動の企画・実施などを、学術担当理事会では地域保健総合推進事業の募集・進捗管理、学会奨励賞の推薦などを、研修担当理事会では保健所連携推進会議や研修会の企画・運営などを、広報担当理事会ではホームページの管理やメールマガジン発行などを、それぞれ精力的に実施いただきました。

会員の皆様におかれましては、このような本会の活動に今後とも変わらぬご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。終わりに、本日もご参集の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ総会開会にあたってのご挨拶といたします。